

# 港湾工事における 総合評価二極化への対応について

平成25年5月17日

東北地方整備局 港湾空港部



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

## 1. 二極化への対応方針～公共工事入札契約の基本的考え方と港湾関係工事の特性～ 国土交通省

### 公共工事入札契約に係る主な方針

基本理念

総合評価導入

昨今情勢

#### 公共工事入札契約適正化法(2000)

- ・公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発達を図る。

#### 公共工事品質確保法(2005)

- ・公共工事の品質は、使用され初めて確認できる受注者の技術的能力に負うところが大きい
- ・個別の工事により条件が異なる
- ・等の特性を有することに鑑み、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素をも考慮し、価格及び品質が総合的に優れた内容の契約がなされることにより、確保されなければならない。

#### 建設産業の再生と発展のための方策2012

- ・東日本大震災への対応を次に活かす
- ・公共工事の入札契約制度の改革等(地域社会の担い手確保を発注者責務に)など

### 港湾工事の特性と必要な配慮事項

海上・水中等の特殊条件下での作業から一般陸上作業まで、幅広い作業条件

二極化にあたり

様々な工事内容に応じ民間企業の技術力を適切に適用するため、  
○より適切な工種・要件設定  
○技術評価における技術力の重視と柔軟性の確保

更に・・・

担い手確保の観点から、港湾工事の特性に応じた企業やその技術力の確保を図ることができるよう、より適切な評価のあり方を検討、順次導入

二極化の制度設計にあたっては、以上を重視しつつ、可能な限り競争参加者・発注者の負担を軽減

### ○総合評価における技術力重視

- ・港湾工事の特性に鑑み、技術提案を求めべき案件については引き続き技術提案評価型として実施（標準型/簡易型適用のバランス・対象工事は現行とほぼ同様）。
- ・技術提案の配点比率も、従来の標準 I 型レベルを確保。

### ○評価の柔軟性確保（成績重視に伴う弊害回避）

- ・施工能力評価型において、I 型の一部で施工計画評価の点数化を可能とし、実績による評価固定化を回避。
- ・技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型を選択肢として追加。
- ・工事特性に応じた多様な評価項目の設定（作業船保有、技術提案力の評価等）。

### ○地域社会の担い手確保に資する評価の導入

- ・災害協定、企業BCP、航路啓開等に資する作業船の保有等を地域貢献として適切に評価。
- ・担い手確保に資する地域企業の受注機会の確保を図るため、技術提案評価型において、実績による加点比率を下げたチャレンジ型を選択肢として追加。（再掲）
- ・技術者評価にあたり、人材育成に配慮（現場代理人経験を監理技術者経験と同程度に評価）。

### ○受発注者双方の労力軽減

- ・技術提案評価型については、一部多数の応募者が予想される案件において、二段階選抜を導入。
- ・従来の簡易型のうち、難易度の低い工事について、施工計画の提出を求めない（施工能力評価 II 型の導入）。

2

## 3. 総合評価落札方式新方式の適用タイプについて

新方式は、施工能力を評価する「施工能力評価型」と、施工能力に加え技術提案を求めて評価する「技術提案評価型」の 2 タイプを設定。

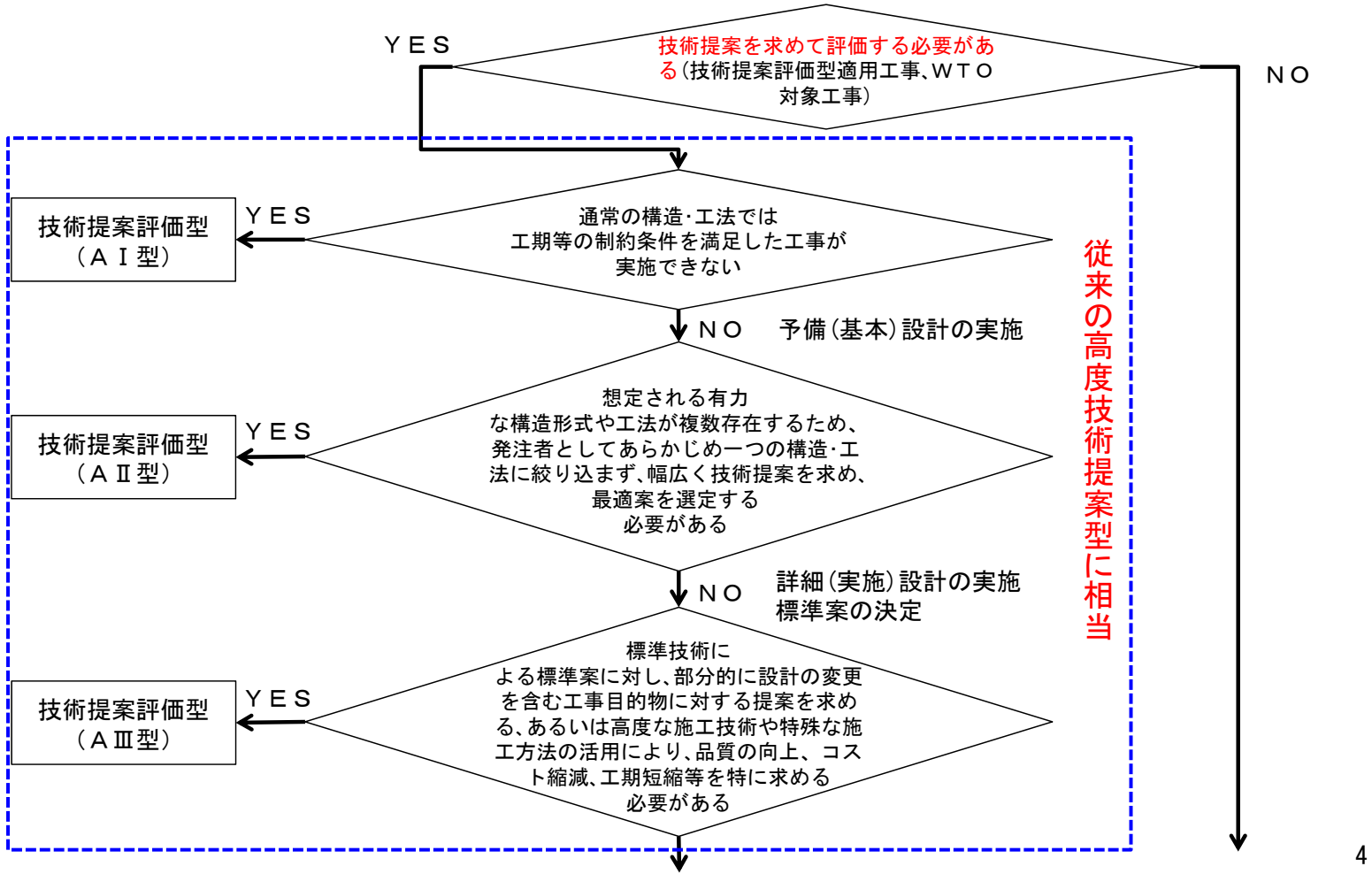
	施工能力評価型		技術提案評価型			
	II 型	I 型（施工計画重視型）	S 型	AIII 型	AI 型、AII 型	
分類の考え方	工事内容	・企業が、発注者の示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを、 <b>企業・技術者の能力等で確認</b> する工事	・企業が、発注者の示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行う能力を有しているかを、 <b>施工計画を求めて確認</b> する工事	・施工上の特定の課題等に関して、 <b>施工上の工夫等に係る提案を求めて</b> 総合的なコストの縮減や品質の向上等を図る場合	・ <b>高度な施工技術等により社会的便益の相当程度の向上を期待</b> する場合	AI：通常の構造・工法では制約条件を満足できない場合 AII：有力な構造・工法が複数ある場合
	提案内容	・ <b>求めない</b>	・ <b>施工計画</b>	・ <b>施工上の工夫等に係る提案</b>	・部分的な設計変更や高度な施工技術等に係る提案	・施工方法に加え、工事目的物そのものに係る提案
	評価方法	・企業・技術者の能力等のみで評価 ※施工計画は可否評価	・ <b>点数化して評価（現簡易型の評価方法を踏襲）</b>	・ <b>点数化して評価（現標準型の評価方法を踏襲）</b>	・点数化して評価	
	ヒアリング	・実施しない	・実施しない	・必須	・必須	
	段階選抜	・ <b>実施しない</b>	・ <b>実施しない</b>	・ <b>実施しない</b>	・実施しない	
	予定価格	・標準案に基づき予定価格を作成		・標準案に基づき予定価格を作成	・技術提案に基づき予定価格を作成	
加算点	40点 7) 企業、技術者の技術力等20点	40点 7) 施工計画20点 4) 企業、技術者の技術力等20点	60点 (WTOは技術提案のみ60点) 7) 技術提案 40点 4) 企業、技術者の技術力等20点	70点		
発注形態の目安	設計・施工分離	設計・施工分離	設計・施工分離	詳細設計付き又は設計施工分離	設計・施工一括	

※1. 表中の段階選抜は、東北地方整備局の港湾関係工事では行わない。

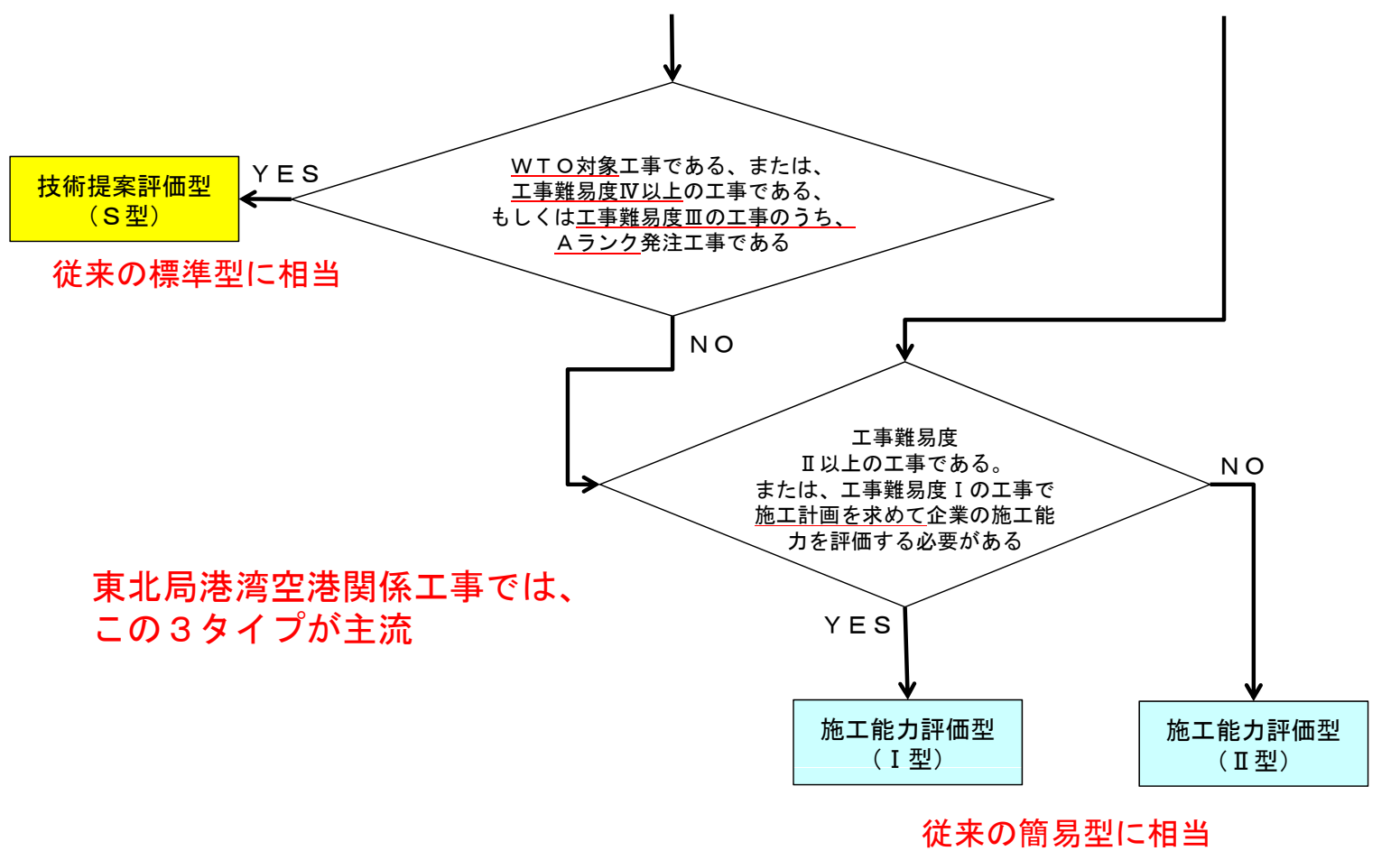
※2. 施工能力評価型（I 型）は施工計画重視型を採用し、施工計画を求め加点評価を行う。

3

# 4. 総合評価落札方式のタイプ選定フロー

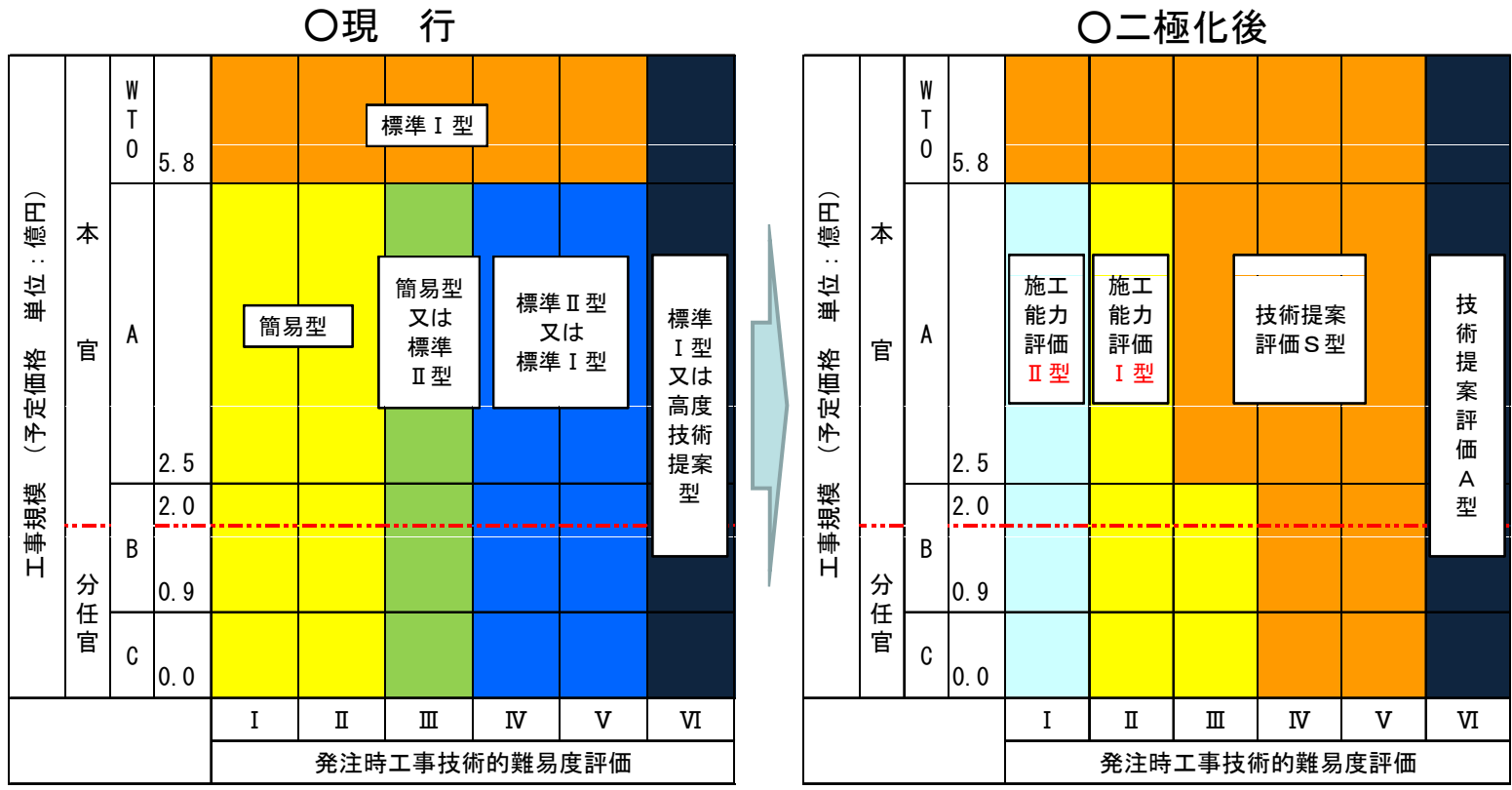


# 4. 総合評価落札方式のタイプ選定フロー



東北局港湾空港関係工事では、  
この3タイプが主流

従来の簡易型に相当



※ランク分けの額については、港湾土木、港湾等しゅんせつ、空港等土木の場合

## 6. 技術評価点の配点方針

- ・ 技術評価点の加算点の評価項目は、①技術提案、②企業の能力等、③技術者の能力等とし、加算点合計及びその内訳は、「配点割合」のとおりとする。
- ・ このうち、②企業の能力等と③技術者の能力等の配点割合は同じとする。
- ・ 地域精通度・貢献度等の評価項目については、参加要件で概ね都道府県レベルの範囲以下の地域要件を設定する工事において、必要に応じ設定するものとする。  
配点は、②、③とは別に設定し、8点を上限とする。  
(・ 施工能力評価型において、特に施工計画の適切性を求める必要がある案件については、施工計画の評価を点数化する「施工計画重視型」の適用も可とする。)

### <形式別配点割合>

#### 1) 施工能力評価型 (II型) 【地域精通度・貢献度等を設定する場合】

競争参加資格対象	総合評価対象 40 (30) 段階選抜対象 40 (30)		
施工計画※	企業の能力等※ 16 (12)	技術者の能力等 16 (12)	地域精通度・貢献等※ 8 (6)

- ※ 施工計画は、可か不可のみを評価する。
- ※ 施工体制確認型でない場合は、( )内の点数とする。
- ※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は8点を超えない範囲で必要に応じて設定し、能力等評価点からその分を減ずる。

#### 【東北港湾空港設定】

競争参加資格対象	総合評価対象 40点		
施工計画	企業の能力等 18 点	技術者の能力等 18 点	地域精通度・貢献等 4 点

## 6. 技術評価点の配点方針

### 1) 施工能力評価型 (I型) 【地域精通度・貢献等設定・施工計画重視型】

工事難易度評価の際に、厳しい施工条件により、特に施工計画の適切性を求める必要がある工事への適用を想定

総合評価対象 40 (30)		
段階選抜対象 20 (15)		
施工計画 20 (15)	企業の能力等※ 10 (7.5)	技術者の能力等 10 (7.5)

地域  
精通度  
・  
貢献等

※東北局は  
地域精通度等を付加

※ 施工体制確認型でない場合は、( )内の点数とする。

※ 「地域精通度・貢献度等」の評価は4点を超えない範囲で必要に応じて設定し、能力等評価点からその分を減ずる。

#### 【東北港湾空港設定】※施工計画重視型を採用

総合評価対象 40点			
施工計画 20点	企業の能力等 8点	技術者の能力等 8点	地域精通度・ 貢献等 4点

8

## 6. 技術評価点の配点方針

- ・ 技術提案評価型については、標準配点案は以下のとおりとする。  
(なお、S型適用案件(WT0除く)のうち、実績評価の比率を下げることにより、担い手確保に資する地域企業の受注機会の確保を図ることを目的とした「チャレンジ型」の適用も可とする。)

<配点割合>

### 2) 技術提案評価型 (S型) 【地域精通度・貢献等設定 非WT0タイプ】

総合評価対象50~60 (40~50)		
段階選抜対象 20 (20)		
技術提案※ 30~40 (20~30)	企業の能力等※ 10 (10)	技術者の能力等 10 (10)

※施工体制確認型でない場合は、( )内の点数とする。

※「地域精通度・貢献度等」を評価する場合は、施工能力評価型と同様の方法で設定(上限4点)する。  
(WT0対象の場合設定しない。)

※WT0対象の場合、企業の能力等及び技術者の能力等は段階選抜での評価のみに利用し、総合評価では評価しない。なお、WT0の配点は別途設定する。

#### 【東北港湾空港設定】

総合評価対象 60点			
技術提案 40点	企業の能力等 9点	技術者の能力等 9点	地域精通度・ 貢献等 2点

9

## 6. 技術評価点の配点方針

### 2) ' 技術提案評価型 (S型) 【チャレンジ型 非WTOタイプ】

総合評価対象40~50 (30~40)		
段階選抜対象10 (10)		
技術提案※ 30~40 (20~30)	企業の能力等※ 5 (5)	技術者の能力等 5 (5)

※担い手確保に資する地域企業の参加が想定される工事や、その他実績評価の比率を下げるにより受注機会の拡大を図ることが望ましいと判断される工事への適用を想定。

※施工体制確認型でない場合は、( )内の点数とする。

※「地域精通度・貢献度等」は設定しない。

#### 【東北港湾空港設定】

総合評価対象 50点			
技術提案 40点	企業の能力等 4点	技術者の能力等 4点	地域精通度・ 貢献等 2点

### 2) " 技術提案評価型 (S型) 【WTOタイプ】 【東北港湾空港設定】

総合評価対象 60点
技術提案 60点

10

## 6. 技術評価点の配点方針

### 3) 技術提案評価型 (A型)

総合評価対象70 (50)	段階選抜対象 40/60		
技術提案 70 (50)	簡易な技術提案※ 20	企業の能力等 20	技術者の能力等 20

※簡易な技術提案は段階選抜で必要に応じて評価

※施工体制確認型でない場合は、( )内の点数とする。

#### 【東北港湾空港設定】

総合評価対象 70点
技術提案 70点

11

## 1) 企業・技術者の能力等

- ①企業の能力等の評価項目は、提案企業の施工実績、工事成績及び表彰を必須とし、必要に応じて、当該企業の施工能力を判断できる項目を適宜設定する。
- ②また、その配点は、バランスよく設定する。(特定の項目に偏らない)
- ③技術者の能力等の評価項目は、当該技術者の施工実績、工事成績及び表彰を必須とし、必要に応じて、当該技術者の施工能力を判断できる項目を適宜設定する。
- ④また、その配点は、バランスよく設定する。

## 2) 地域精通度・貢献度等

- ①地域精通度・貢献度等の評価項目は、参加要件で概ね都道府県レベルの範囲以下の地域要件を設定する工事において、災害協定の有無・災害活動の実態、近隣地域での施工実績等の社会資本整備・管理に関係のある項目について必要に応じて設定し、企業の能力等、技術者の能力等とは別に評価する。
- ②また、その配点は、バランスよく設定する。
- ③社会資本整備・管理に直接的な関係のない項目は設定しない。

# 8. 競争参加資格要件と総合評価項目

資格要件・評価項目		参加要件	段階選抜	総合評価	設定・評価の考え方 (凡例) ○：必須 △：選択 ×：非設定
企業の能力等	実績	○	○	○	・過去〇年間を対象とする。 ・工事難易度の低い工事の競争参加要件においては、工事量を設定しないこととし、総合評価で適宜評価する。
	成績	○	○	○	・過去〇年間の同じ工種区分の平均成績とし、6.5点以上であることを参加要件とする。 ・当面は各地整管内工事を対象とする。 ・過去〇年間の実績がない場合は、適宜遡ることができるものとする。 ・ただし、データベースの整備状況に応じ、当該地整のみとすることも可能とする。
	表彰	×	○	○	・過去〇年間を対象とする。発注量、企業数、表彰数に応じ、延長・短縮できるものとする。 ・必要に応じ、下請予定者の表彰実績を評価することも可とする。
	関連分野での技術開発、新技術の活用	×	△	△	
	品質管理・環境マネジメントシステムの取組状況(ISO等)	×	△	△	
	技能者の配置状況、技術提案力の評価	×	△	△	
	その他	×	△	△	・品質との関連性が説明できる項目を設定するものとする。
技術者の能力等	実績	○	○	○	・企業の実績と同じ。
	成績	○	○	○	・過去〇年間の同じ工種区分の平均成績とし、6.5点以上であることを参加要件とする。 ・全国を対象とする。 ・過去〇年間の実績がない場合は、適宜遡ることができるものとする。 ・ただし、データベースの整備状況に応じ、当該地整のみとすることや、3件程度の平均とすることも可能とする。
	表彰	×	○	○	・過去〇年間を対象とする。発注量、企業数、表彰数に応じ、延長・短縮できるものとする。
	CPD	×	△	△	
	資格	○	△	△	
	その他	×	△	△	・技術者育成に資するような項目を想定。
	ヒアリング	×	△	△	・監理能力及び技術提案に対する理解度あるいは施工計画の適切性を評価する。

# 8. 競争参加資格要件と総合評価項目

資格要件・評価項目		参加要件	段階選抜	総合評価	設定・評価の考え方 (凡例) ○: 必須 △: 選択 ×: 非設定
手持ち工事量		△	×	×	・総合評価では評価しない。 ・発注見込み件数等を考慮し、適宜設定する。
地理的条件	本支店営業所の所在地	○	△	△	・要件として設定する場合、競争性を確保すること。
	企業の近隣地域での施工実績の有無	△	△	△	
	監理技術者の近隣地域での実績	△	△	△	
地域精進度・貢献	災害協定の有無・協定に基づく活動実績、企業BCP、作業船等の保有状況	×	△	△	・作業船等の保有状況については、災害時等の迅速な対応可能性が高いという点に着目し、地域貢献として評価を行う。
	ボランティア活動等	×	△	△	・社会資本整備・管理に関係しないものは総合評価で評価しない。
	その他	×	△	△	・社会資本整備・管理に関係のある項目を設定できるものとする。

# 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

【東北港湾空港関係工事適用】

評価項目	評価細目	施工能力評価型								技術提案評価型 (S型)							
		II 型				I 型・施工計画重視型				非WTO(地域要件等有)				WTO			
		必須別	配点	加算点 合計	割合	必須別	配点	加算点 合計	割合	必須別	配点	加算点 合計	割合	必須別	配点	加算点 合計	割合
技術提案 施工計画	項目①	◎			◎	20.0	20.0	(20.0%)	◎	20.0	40.0	(66.7%)	◎	30.0	60.0	100.0%	
	項目②	--	競争参加資格要件 (可否評価)				--	--	--	◎	20.0	66.7%	◎	30.0			
企業の 技術力	施工実績	◎	6.0	18.0	45.0%	◎	3.0	8.0	20.0%	◎	3.0	9.0	15.0%	--	--		
	工事成績評定点	◎	8.0			◎	3.0			◎	3.0						
	表彰①(優良施工)	◎	2.0			◎	1.0			◎	1.0						
	表彰②(安全施工)	◎	2.0			◎	1.0			◎	1.0						
	技術開発実績の有無	△	--			△	--			△	1.0						
	品質管理・環境マネジメント システムの取組み状況	△	--			△	--			△	--						
	技能者の配置状況、 技術提案力の評価	△	--			△	--			△	--						
その他(手持ち工事量)	△	--	△	--	△	--											
配置予定 技術者の 技術力	施工経験	◎	6.0	18.0	45.0%	◎	2.0	8.0	20.0%	◎	3.0	9.0	15.0%	--	--		
	工事成績評定点	◎	6.0			◎	3.0			◎	3.0						
	表彰(優良技術者)	◎	2.0			◎	1.0			◎	1.0						
	CPD	△	2.0			△	1.0			△	1.0						
	資格	△	2.0			△	1.0			△	1.0						
	その他	△	--			△	--			△	--						
	ヒアリング(技術提案理解度)	△	--			△	--			△	--						
手持ち工事量	×	--	×	--	×	--	×	--	◎	--	◎	--	◎	--	◎	--	
地理的条件	本支店営業所の所在地	△	--			△	--			△	--			△	--		
	近隣地域での施工実績	△	--			△	--			△	--						
	監理技術者の 近隣地域施工実績	△	--			△	--			△	--						
	災害協定活動実績	△	--			△	--			△	--						
地域精進度 ・貢献	企業BCP策定	△	2.0	4.0	10.0%	△	2.0	4.0	10.0%	△	2.0	2.0	3.3%	△	--		
	ボランティア活動	△	--			△	--			△	--						
	その他(作業船保有状況)	△	2.0			△	2.0			△	--						
	加算点合計	40.0				100.0%	40.0			100.0%	60.0			100.0%	60.0		

青字は新方式適用項目、網掛けは現行標準型適用項目 ( ) 書きは簡易型の配点割合

( ) 書きは標準 I 型の配点割合



〈評価項目と配点のおもな変更点〉

- 1) 企業の施工実績と配置予定技術者の施工経験において、より同種性の高い実績を加点評価 (同種工事は参加要件とし加点評価しない)
  - ・ 同種性が認められる工事 . . . . . 主要工種と数量の 1 / 2
  - ・ より同種性が高い工事 . . . . . 主要工種と数量の 3 / 4
 (例) 実質量6千トンのケーソン製作の設定例  
 同種性が高い工事      実質量3千トンのケーソンを製作した  
 より同種性が高い工事      実質量4.5千トンのケーソンを製作した
- 2) 配置予定技術者の施工経験において、現場代理人経験も評価対象とした
- 3) 配置予定技術者の工事成績は、全国の実績を評価する。  
 ※但し、適用時期はデータベース整備構築後 (6月頃)  
 (注意) 適用については発注工事の入札説明書別添資料 (総合評価に関する基準) を確認してください。
- 4) 手持ち工事量は評価対象外とした
- 5) 地域精通度等項目に、企業BCP計画策定の有無と、作業船保有状況を設定  
 ※作業船保有状況については施工能力評価型に設定

〈タイプ別評価項目と配点〉

1) 施工能力評価型 (II・I型【施工計画重視型】) (施工計画及び企業の技術力)

評価項目	評価細目	メ	モ	項	施工能力評価型							
					II 型				I 型・施工計画重視型			
					配点	加算点 合計	割合	獲得点	配点	加算点 合計	割合	獲得点
技術提案 施工計画	項目①(テーマ①)	評価基準は現行簡易型を踏襲 ( <u>着眼点1P+配慮すべき事項2n</u> )/項目)*3項目	テーマ①	競争参加資格要件 (可否評価)				20.0	20.0	(20.0%)	20.0	
	項目②(テーマ②)						--			50.0%	--	
企業の 技術力	施工実績	過去15カ年度の実績 ※同種は競争参加要件。より同種を加点評価	より同種性の高い工事実績有	6.0	18.0	45.0%	6.0	3.0	8.0	20.0%	3.0	
	同種性が認められる工事の実績有り	0.0	0.0									
	工事成績評定点	過去5カ年度の 工事成績評定点の平均点	80点以上	8.0	8.0	3.0	3.0	8.0	40.0%	3.0		
			75点以上 80点未満		4.0		2.0					
			70点以上 75点未満		2.0		1.0					
			70点未満		0.0		0.0					
	表彰① (優良施工表彰・ 工事成績優秀企業)	過去5カ年度の優良施工表彰、 工事成績優秀企業認定の有無	実績有り(局長表彰または認定)	2.0	2.0	1.0	1.0	8.0	20.0%	1.0		
			実績有り(事務所長表彰)		1.0		0.5					
			実績無し		0.0		0.0					
	表彰②(安全施工)	過去5カ年度の安全施工表彰の有無	実績有り(局長表彰または認定)	2.0	2.0	1.0	1.0	8.0	20.0%	1.0		
実績有り(事務所長表彰)			1.0		0.5							
実績無し			0.0		0.0							
技術開発実績の有無	港湾工事の関連分野における 技術開発実績の有無	実績有り	--	--	--	--	--	--	--			
品質管理・環境マネジメント システムの取組み状況		実績有り	--	--	--	--	--	--	--			
技能者の配置状況、 技術提案力の評価		実績無し	--	--	--	--	--	--	--			
その他(手持ち工事量)			--	--	--	--	--	--	--			

※青字は新方式適用評価項目、網掛けは現行簡易型適用評価項目

# 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

## 1) 施工能力評価型(Ⅱ・Ⅰ型【施工計画重視型】)(配置予定技術者の技術力、その他)

評価項目	評価細目	メ	モ	項目	施工能力評価型							
					Ⅱ型				Ⅰ型・施工計画重視型			
					配点	加算点 合計	割合	獲得点	配点	加算点 合計	割合	獲得点
配置予定 技術者の 技術力	施工経験	過去15カ年度の実績 ※現場代理人経験も評価対象	より同種性の高い工事の実績において <b>監理(主任)技術者</b> あるいは <b>現場代理人</b> として従事 より同種性の高い工事の実績において、 <b>担当技術者</b> として従事。または、 <b>同種性が認められる工事</b> において、 <b>監理(主任)技術者</b> あるいは <b>現場代理人</b> として従事 同種性が認められる工事において、 <b>担当技術者</b> として従事	6.0	18.0	45.0%	2.0	6.0	2.0	8.0	20.0%	2.0
								4.0				1.0
								0.0				0.0
	工事成績評定点	過去5カ年度の平均成績 ※対象工事区分での成績 監理(主任)技術者および現場代理人として従事した工事の成績	80点以上	6.0		3.0	3.0					
			75点以上 80点未満	4.0		2.0	2.0					
			70点以上 75点未満	2.0		1.0	1.0					
			70点未満	0.0		0.0	0.0					
	表彰(優良技術者)	過去5カ年度の優秀工事技術者表彰の有無	実績有り	2.0		1.0	1.0					
			実績無し	0.0		0.0	0.0					
	CPD	継続研鑽(CPD)の取り組み状況	推奨単位	2.0		1.0	1.0					
推奨単位未満または該当無し			0.0	0.0	0.0							
資格	当該工事の品質確保に有益な資格	資格有り	2.0	1.0	1.0							
		資格無し	0.0	0.0	0.0							
ヒアリング			--	--	--							
手持工事量				--	--	--	--	--	--	--	--	
地理的条件	本支店営業所の所在地			--	--	--	--	--	--	--	--	
	近隣地域での施工実績 監理技術者の近隣地域施工実績			--	--	--	--	--	--	--	--	
地域精進 ・貢献	災害協定活動実績			--	--	--	--	--	--	--	--	
	企業BCP策定	東北地整(港湾空港関係)災害時建設事業継続力認定の有無	認定有り	2.0	4.0	10.0%	2.0	2.0	4.0	10.0%	2.0	
			認定無し	0.0	0.0	0.0						
	ボランティア活動			--	--	--	--	--	--	--	--	
その他(作業船保有状況)	作業船保有状況			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
加算点合計				40.0	100.0%			40.0	100.0%			

※青字は新方式適用評価項目、網掛けは現行簡易型適用評価項目

# 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

## 2) 技術提案評価型(S型 非WTOタイプ)(技術提案及び企業の技術力)

評価項目	評価細目	メ	モ	項目	技術提案評価型(S型)							
					非WTO(地域要件等有)				非WTO(地域要件等有・チャレンジ型)			
					配点	加算点 合計	割合	獲得点	配点	加算点 合計	割合	獲得点
技術提案 施工計画	項目①(テーマ①)	評価基準は現行標準型を踏襲 (4P/提案*3提案)+NETIS/1P/項目	テーマ①	20.0	40.0	66.7%	20.0	20.0	40.0	66.7%	20.0	
	項目②(テーマ②)			20.0			20.0	20.0				
企業の 技術力	施工実績	過去15カ年度の実績 ※同種は競争参加要件。より同種を加算評価	より同種性の高い工事実績有 同種性が認められる工事の実績有り	3.0	9.0	15.0%	3.0	4.0	4.0	8.0%	4.0	
												0.0
	工事成績評定点	過去5カ年度の 工事成績評定点の平均点	80点以上	3.0			3.0					
			75点以上 80点未満	2.0			--					
			70点以上 75点未満	1.0			--					
			70点未満	0.0			--					
	表彰① (優良施工表彰・ 工事成績優秀企業)	過去5カ年度の優良施工表彰、 工事成績優秀企業認定の有無	実績有り(局長表彰または認定)	1.0			1.0					
			実績有り(事務所長表彰)	0.5			--					
			実績無し	0.0			--					
	表彰②(安全施工)	過去5カ年度の安全施工表彰の有無	実績有り(局長表彰または認定)	1.0			1.0					
実績有り(事務所長表彰)			0.5	--								
実績無し			0.0	--								
技術開発実績の有無	港湾工事の関連分野における 技術開発実績の有無	実績有り 実績無し	1.0	1.0 0.0	-- --	-- --	-- --					
品質管理・環境マネジメント システムの取組み状況			--	--	--	--	--	--	--			
技能者の配置状況、 技術提案力の評価			--	--	--	--	--	--	--			
その他(手持工事量)			--	--	--	--	--	--	--			

※青字は新方式適用評価項目、網掛けは現行標準型適用評価項目

# 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

## 2) 技術提案評価型 (配置予定技術者の技術力など)

評価項目	評価細目	メ	モ	技術提案評価型 (S型)								
				項目	非WTO(地域要件等有)				非WTO(地域要件等有・チャレンジ型)			
					配点	加算点 合計	割合	獲得点	配点	加算点 合計	割合	獲得点
配置予定 技術者の 技術力	施工経験	過去15カ年度の実績 ※現場代理人経験も評価対象	より同種性の高い工事の実績において <b>監理(主任)技術者</b> あるいは <b>現場代理人</b> として従事	3.0	9.0	(12.0%)	3.0	4.0	4.0	(12.0%)	4.0	
			より同種性の高い工事の実績において、 <b>担当技術者</b> として従事。または、同種性が認められる工事において、 <b>監理(主任)技術者</b> あるいは <b>現場代理人</b> として従事				2.0				2.0	
			同種性が認められる工事において、 <b>担当技術者</b> として従事				0.0				0.0	
	工事成績評定点	過去5カ年度の平均成績 ※対象工事区分での成績 監理(主任)技術者および現場代理人として従事した工事の成績(DB構築が前提)	80点以上	3.0	9.0	(12.0%)	4.0	4.0	4.0	(12.0%)	---	
			75点以上 80点未満				2.0				---	
			70点以上 75点未満				1.0				---	
			70点未満				0.0				---	
	表彰(優良技術者)	過去5カ年度の優秀工事技術者表彰の有無	実績有り	1.0	9.0	(12.0%)	1.0	4.0	4.0	(12.0%)	---	
実績無し			0.0				8.0%					
CPD	継続研鑽(CPD)の取り組み状況	推奨単位	1.0	9.0	(12.0%)	1.0	4.0	4.0	(12.0%)	---		
		推奨単位未満または該当無し				0.0				---		
資格	当該工事の品質確保に有益な資格	資格有り	1.0	9.0	(12.0%)	1.0	4.0	4.0	(12.0%)	---		
		資格無し				0.0				---		
ヒアリング	技術提案の理解度を評価(提案加算点に係数掛ける)	十分理解×1.0 理解×0.75 それ以外×0.0		実施				実施				
手持工事量		※総合評価では設定しない		---				---				
地理的条件	本店営業所の所在地			---				---				
	近隣地域での施工実績			---				---				
	近隣地域での施工実績 監理技術者の 近隣地域施工実績			---				---				
地域精進度 ・貢献	災害協定活動実績			---				---				
	企業BCP策定	東北地整(港湾空港関係)災害時建設事業継続力認定の有無	認定有り	2.0	2.0	(6.6%)	2.0	2.0	2.0	(6.6%)	2.0	
			認定無し				0.0				4.0%	0.0
	ボランティア活動			---				---				
その他(作業船保有状況)	※技術提案評価型には適用しない		---				---					
加算点合計				60.0	100.0%			50.0	100.0%			

※青字は新方式適用評価項目、網掛けは現行標準型適用評価項目

# 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

## 2) ' 技術提案評価型 (S型 WTOタイプ)

評価項目	評価細目	メ	モ	技術提案評価型 (S型)			
				項目	WTO		
					配点	加算点 合計	割合
技術提案 施工計画	項目①(テーマ①)	評価基準は現行標準型を踏襲 ((4P/提案*3提案)+NETIS/1P)/項目		テーマ①	30.0	60.0	100.0%
	項目②(テーマ②)			テーマ②	30.0		
加算点合計					60.0	100.0%	

※WTOは技術提案のみ評価

※青字は新方式適用評価項目、網掛けは現行標準型適用評価項目

## 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

### 3) 評価項目における留意点

#### ①配置予定技術者の技術力における技術者資格について

- |                                 |      |
|---------------------------------|------|
| ・ 技術提案評価型 (S型) および施工能力評価型 (I 型) | 1点加点 |
| ・ 施工能力評価型 (II 型)                | 2点加点 |

#### 【加点対象資格と対象工事 (検討中)】

a. 海上工事施工管理技術者 I 類 (浚渫)、II 類 (コンクリート構造物)、III 類 (鋼構造物)

対象工事：港湾工事全般

b. コンクリート技士 および コンクリート主任技士

対象工事：コンクリートブロック製作工事、ケーソン製作工事、

※コンクリートが主要資材となる工事で、品質確保が特に重要と判断される工事

(適用例)

#### ◎ケーソン製作工事

加点対象資格：①海上工事施工管理技術者 (分類問わず)

②コンクリート技士およびコンクリート主任技士

#### ◎防波堤築造工事

加点対象資格：①海上工事施工管理技術者 (分類問わず)

#### ②地域精通度・貢献について

a. 災害時建設業事業継続力認定企業 について (災害時BCP認定企業)

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| ・ 災害時建設業事業継続力認定企業 (港湾関係) | 2点加点 |
|--------------------------|------|

対象工事：総合評価落札方式適用工事 全て

確認書類：認定書のコピー

22

## 9. 港湾空港関係工事における総合評価項目と配点

### 【参考】

東北地方整備局 (港湾空港関係) 災害時建設業事業継続力

認定制度 について

～認定制度創設に至った経緯～

①「港湾における地震津波対策のあり方 (交通政策審議会港湾分科会防災部会答申)」にて、港湾の災害対応力の強化が求められている。

②先の東日本大震災では、災害直後の応急復旧への対応は、建設業の協力なしでは為し得ないことが実証された。

### 【災害時建設業事業継続力認定制度】

建設会社が備えている基礎的事業継続力を東北地方整備局港湾空港部が評価・認定し、その建設会社を公表することにより、建設会社における事業継続計画の策定を促進し、東北地方整備局港湾空港関係の災害対応の円滑な実施と、地域防災力の向上を目指す ものです。

◎認定企業が、東北地方整備局港湾空港関係工事に競争参加する際、総合評価落札方式の「地域精通度・貢献度」項目にて加点評価を行う。

次回認定〆切は、平成25年7月末

23

## b. 作業船保有状況について（災害時に使用出来る作業船を所有している）

- ・海上工事で使用する作業船を自社で保有・共有している 2点加

対象工事：施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ型の工事全て

加対象作業船：港湾工事で使用できる作業船

※現有作業船一覧（日本作業船協会発行）に掲載されている船種

確認書類：船の種類と所有者が確認できる書類（船舶登記・船舶登録の書類など）

## c. 災害廃棄物原燃料セメント使用について

- ・災害廃棄物原燃料セメントを使用したコンクリートを使用する場合 2点加

対象工事：岩手県内で発注するコンクリートを主要資材する、施工能力審査型・技術提案評価型を採用する工事（WTOおよび災害復旧工事は除く）

（例）ブロック製作・ケーソン製作など

# 10. 施工能力・技術提案評価型の施工計画、技術提案について

## 〈施工能力評価型（Ⅰ型）【施工計画重視型】における施工計画の求める内容と評価基準〉

### 1) 求める内容

- ①特に重要と考えられる工種にかかる施工方法や環境対策等特に配慮すべき事項について、1項目記述を求める。
- ②また必要に応じて、記述に当たっての視点等を明示し、それらについて記述を求めることとする。
- ③記述量はA4・1～2枚を基本とする。

### 2) 評価基準

- ①施工計画にかかる獲得点20点満点を、評価基準に従い2.2点～20.0点の間で加点する。

※現行の簡易型と同様

評価項目	評価基準	配点	獲得点
【施工計画】 (例) 施工上配慮すべき事項	施工計画は下記項目の優劣を総合的に評価する	20.0～ 2.2	20点 満点
〇〇に係る品質管理 方法	①施工上配慮すべき事項の着眼点と、 現場条件等の整合性  ②施工計画の具体性・确实性	9段階	
	記載が無い、又は記載内容が適正でない	欠格	

〈技術提案評価型(S型)における技術提案の求める内容と評価基準〉

1) 求める内容

①施工上の特定の課題等に関する施工上の工夫等について、工事内容に応じ2テーマ設定する。

2) 指定テーマに対する技術提案

①各テーマ毎に3提案までとする。

②提案数を超えた提案内容については評価せず、提案数までの提案内容にて評価する。

③記述量は、1提案につきA4・1枚を基本とする。

【テーマ設定例】

例)「大水深での基礎捨石投入における配慮事項とその対策(管理方法の工夫を含む)」に対する技術提案

- ・本工事は、大水深での基礎捨石(暫定捨石)投入となることから、次施工を考慮し、基礎捨石の均一な出来形を確保するための施工方法及び管理方法の工夫が重要である。このため、この主旨に着目した提案を求める。

3) 評価基準

①施工計画にかかる獲得点20点満点を、評価基準に従い1.5点～20.0点の間で加点する。

※現行標準型と同様

評価項目	評価基準	配点	獲得点
<b>【性能・機能】</b> (例) 評価項目① ○○に係る施工方策  評価項目② ●●に係る施工方策	技術提案について、下記項目の優劣を総合的に評価する。 ・効果の確実性 ・新規性・新技術の取組 ・提案の具体性	20.0 ~ 1.5	20点満点 / テーマ
	標準案が適正に示されているが、技術提案の記載がない、又は、技術提案として採用されないが、標準案が適正である。	13 段階  0.0	
	・技術提案及び標準案の記載がない。 ・記載が無い、又は記載内容が適正でない	欠格	

※1. 上記基準は、技術提案1テーマあたり。合計獲得点は設定テーマ数による。

※2. WTO対象工事は技術提案1テーマあたり30点満点とし、30点を13段階で配点する。

# 11. 技術提案評価型における配置予定技術者ヒアリングについて 国土交通省

技術提案評価型S型において、配置予定技術者に対しヒアリングを実施する。  
ヒアリングは「技術提案に対する理解度」についてとし、技術提案のテーマ毎に実施する。

ヒアリング内容	評価の視点	評価基準	係数	
技術提案 (技術提案 評価型S型)	<b>(技術提案の理解度)</b> ・技術提案の内容 ・技術提案の効果 <b>(施工上配慮すべき事項の適切性)</b> ・技術提案が効果を発揮するために、施工上配慮すべき以下の事項 -工程管理 -品質管理 -安全管理 -関係者との調整	技術提案の内容を <b>十分に理解</b> しており、技術提案の効果が最大現発揮されるために配慮すべき事項が適切である ○左記について、工事特性との関係を踏まえ、 <b>説得力を持って説明できる</b>	× 1.0	技術提案の評価点に左記の係数を掛ける ※ 1
		技術提案の内容を <b>理解</b> しており、技術提案の効果が発揮されるために配慮すべき事項が適切である ○左記について、 <b>一般的に説明できる</b>	× 0.75	
		上記以外	× 0.0	

※ 1 技術提案を2テーマ求める場合、各々テーマ毎にヒアリングを行い、それぞれの評価点に係数を掛ける。

## 【技術提案加算点の算定方法】

技術提案テーマ①      テーマ①技術提案評価点      ×      ヒアリング評価係数      =      技術提案①加算点 (a)  
 技術提案テーマ②      テーマ②技術提案評価点      ×      ヒアリング評価係数      =      技術提案②加算点 (b)

(a) + (b) **技術提案加算点 (確定)**

28

# 12. 適用時期について 国土交通省

新方式の適用は、平成25年度本予算成立日(5月15日)以降公告する工事からとなります。

(お願い)

発注工事の総合評価適用タイプの設定は、適用基準日直後、従来式と新方式が混在します。

また、評価項目は、工事により異なる場合があります。

競争参加の際、入札説明書を十分確認してください。

**本説明会に関する問合せ先**

東北地方整備局港湾空港部

品質確保室長 東海林 恭一(しょうじ きょういち)

課長補佐 野呂 茂樹(のろ しげき)

022-716-0009(ダイヤルイン)

29